

昔を偲び今を思ひて

渡 邊 龍 聖

歲月流るゝこと早く、いま小樽高商創立二十周年を迎ふるに當り、その半生の
成育に携りし我輩として満腔の祝意と欣喜とを禁じ能はぬ。こゝに教官各位
の蘊蓄を傾けし大冊の論文集を刊行してこれを記念するを見ること、また我輩
に深き感慨なきを得ない。小樽の地たるや、本邦の中心を遠く離れ、二十年の昔
日、我輩こゝの綠丘に商學の燈を掲げし頃は、地の隔りと共に何となく文化もま
た遅れてゐたかの感ありしも、爾來、幸にして校運隆盛を極め、小樽に黠ぜられし
學燈の光りは、いよゝゝ輝きて普く本邦學界を刺戟し啓發すること甚大なるこ
とを今は思ふのである。我輩茲に卷頭の言辭を述ぶるの榮を負ふに當り、昔を
偲び今を思ひ、衷心欣快の情をもつて、當に壯年期に達したる綠丘學園の盛運を

祝し、併せて將來の進展を祈る次第である。

昭和六年九月

序
文